

① テーマ

支援が必要なこどもの相談体制

② 地域の現状と課題

「こども」と一括りにすることは難しく、乳幼児期～18歳年齢まで、それぞれのライフステージごとに課題の洗い出しを実施。その中で、成長段階においてその時期特有の課題もあれば、時期を問わず共通する課題もあることを確認。障害受容から保護者フォローや発達の後追い、就学や進学に伴うライフステージの切り替わりにおける支援者のつなぎ、サービス利用に求めるニーズの多様化、強度行動障害や医療的ケア児など個別支援の必要性の増加と幅広く課題がみられる中、部会として焦点を絞り取り組みを進めていくこととした。

【課題整理】

乳幼児期

- ・わたしの記録の活用
- ・支援者の情報量の差
- ・支援者の役割分担
- ・発達支援のあり方
- ・こども発達支援センターのあり方

共通

- ・支援人材の資質向上
- ・支援者の縦横連携の構築
- ・行動障害や医療的ケア児等、個別ニーズへのアプローチ
- ・保護者の養育に対するフォロー

学齢期

- ・適切かつ均一なサービス提供
- ・こどもの抱える課題の複雑化
- ・サービスに求めるニーズの多様化
- ・個別ニーズの拡大
- ・相談先の複雑さ

③ 検討内容（必要な取組の方向性）

1. 乳幼児期

- ・わたしのきろくの活用について、支援者への周知および配布後のフォローや利用後の意見の聞き取り
- ・支援者同士の横のつながりの構築、お互いの役割の理解を進めていく
- ・保護者への気づきの促しやこどもの成長に合わせた支援の組み立てに向けた支援者の力量形成

2. 学齢期

- ・教育現場と福祉サービスについて共通認識を持つ機会を設ける
- ・こどもの成長発達に伴うサービスの必要性の見極めや支援力の向上
- ・市の相談支援体制の整理、明確化
- ・こどもの居場所に関する地域の情報収集と検討
- ・学齢期から成人サービスへのスムーズな移行に向けた進路相談や相談体制の明確化

3. 共通課題

- ・保護者の子育ての不安や孤立感への相談支援や仲間づくりの必要性
- ・保護者の就労やレスパイトを支える仕組みの充実
- ・こどもにかかわる支援者が福祉サービス等の情報共有と支援力の向上を進めていく

4. 放課後等デイサービス等の事業所から意見

- ・放課後等デイサービスのニーズの複雑化、保護者支援
- ・重度の障害ある児童の利用できるサービスの拡充
- ・関係機関との連携と各機関の役割の明確化

④ 来年度の取組方針

共通の課題を優先に取り組みを開始し、各ライフステージにおける課題への汎化を目指す

1.関係機関の連携

○研修会の開催（人材育成および連携強化）

2.保護者支援

○サービスのあり方の検討（発達支援と保護者の就労や生活を支えるニーズをどのように受け止めていくか）

○ライフステージの切り替えにおける保護者サポート（ライフステージの切り替わりにおける変化の見通しを持ち対応できる仕組みづくりを進める）

○保護者の自助力の向上に向けた取り組み（保護者自身が成長に向き合う中で選択肢を増やしたり、特性に対する対応を学びあう機会を検討する）

⑤ その他（開催経過）

月 日	内 容
7月4日（木）	・こども部会の目標と進め方について協議 次回以降、乳幼児期と学齢期に参加者を分けてグループワークを実施していくことを確認。
7月26日（金）	・グループワークにて、課題整理票に基づき、「既存の取り組み・支援」を協議
8月19日（月）	・グループワークの全体共有、意見交換 課題整理票の共通課題についての検討討議
10月11日（金）	・課題整理票の共通課題をグループで検討、共有 ・部会での直接的な取組について協議
1月7日（火）	・放課後等デイサービス事業所等のアンケート共有、検討 次年度以降の取り組みについて協議 ₃